



- 平成18年度北海道農村生活研究大会
主 催 北海道農村生活研究会
- 道立農業大学校公開講座「地域研修会セミナー」
主 催 道立農業大学校
と き 平成18年11月16日
- オホーツク管内JA理事・監事研修会
主 催 北農中央会北見支所
と き 平成18年12月5日
テー マ 経営所得安定対策下の
- まくべつ農村アカデミー
主 催 幕別町農業振興公社
と き 平成18年12月12日
テー マ 地産地消と十勝の野菜
講 義 黒澤不二男
(当研究所・常務)
- 平成18年度地域農業確立検討会
主 催 (独法)北海道農業研究センター
と き 平成18年11月1日
テー マ 品目横断的経営所得安定対策のもとでの大規模畑作農業の展開
報 告 黒澤不二男
(当研究所・常務)
- 地域開発計画管理Ⅱ
主 催 (独法)国際協力機構
と き 平成18年11月12日
テー マ 農協の仕組みと制度
講 義 奈良孝一
(当研究所・研究部長)
- JA美瑛集落代表者研修会
主 催 JA美瑛
と き 平成18年12月4日
テー マ 品目横断的政策の影響
と 産 地としての対応
講 演 黒澤不二男
(当研究所・常務)
- ニユーリーダー養成研修
主 催 北海道立農業大学校
と き 平成18年12月6日
テー マ 経営実態調査の重要性
所 の 果たす役割
講 義 奈良孝一
(当研究所・研究部長)
- 地産地消シンポジウム
主 催 北海道農政部
と き 平成18年11月30日
テー マ 地産地消に向けた直売
は コーディネーター・黒澤不二男
(当研究所・常務)
- 平成18年度地域農業確立検討会
主 催 (独法)北海道農業研究センター
と き 平成18年11月11日
テー マ 消費者の求める農業と
は コーディネーター・太田原高昭
(当研究所・所長)
- ニユーリーダー養成研修
主 催 北海道立農業大学校
と き 平成18年12月6日
テー マ 経営実態調査の重要性
講 義 黒澤不二男
(当研究所・常務)
- 地産地消シンポジウム
主 催 北海道農政部
と き 平成18年11月30日
テー マ 地産地消に向けた直売
は コーディネーター・黒澤不二男
(当研究所・常務)
- ニユーリーダー養成研修
主 催 北海道立農業大学校
と き 平成18年12月6日
テー マ 経営実態調査の重要性
講 義 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○平成18年度就農アドバイザー会議

主催 (社) 北海道農業担い手育成センター

とき 平成18年12月20日
テーマ 地域における就農支援の体制

報告 黒澤不二男
(当研究所・常務)

DATA FILE

関連事項/ DATA

(独) 日本学術振興会

〒102-8471

東京都千代田区一番町6番地

☎ 03(3263)1722

FAX.03(3221)2470

HP: <http://www.jsps.go.jp/>

愛別町

〒078-1492

上川郡愛別町字本町179番地

☎ 0165(6)5111(代)

FAX.0165(6)5110

HP: <http://www.town.aibetsu.hokkaido.or.jp/>

愛別町農業協同組合

〒078-1495

上川郡愛別町字本町125番地

☎ 0165(6)5311(代)

FAX.0165(6)4197

(社) 北海道地域農業研究所

〒060-0004

札幌市中央区北4条西7丁目1

☎ 011(281)2566

FAX.011(281)2707

HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

編集後記

・平成19年も北海道農業にとって、国際交渉特にオーストラリアとのFTA・EPA交渉の行えが大きな注目点となっています。影響は甚大であり北海道経済・農業を守るために農業界のみならず行政を含めオール北海道挙げての運動が必要となっています。

また、本年からスタートする米の新需給調整システムへの移行・品目横断的経営安定対策等農政改革に関するもJAグループ挙げて精力的に取り組むことが求められています。

いずれにしても、災害のない豊穣の秋を迎えるのを期待しています。

・新年早々全国各地で汚職・イジメ・殺人事件が多発しています。事件の原因としては格差の拡大等社会のヒズミからくるものが多数

を占めていますが、暗い事件の少ない世の中「穏やかな日本」を目指して、政治家のみならず私たちひとりひとりが知恵をしほる必要があるのではないかでしょうか。

・受験シーズン到来 センター試験に始まり高校・大学の入学試験が幕を切って下ろされました。受験生をもつ親として本人ともども頭の痛い時期、体調を整え普段の力を全力で發揮すれば結果はつくる! (親のはかない期待かも)